令和　２　年度体育祭特別号

学校だより　「ことのは」

―遠大なる理想　あふるる友情　不屈の闘志―

［発行者］たつの市立龍野東中学校　校長　道前弘志
［発行日］令和２年９月　日

ひがドラ

素直さ全開！体育祭終わる

体育祭スローガン：「大空に輝け 我ら龍東の伝統　心に燃やせ 希望の灯」

開会式。教頭先生から高らかに開会宣言がなされ、国歌とともに国旗や市旗、校旗が掲揚されました。そして、大会歌がグラウンドに流れます。何も特別なことはない当たり前の光景です。しかし、毎年見慣れているはずのこうした一つ一つが、とてもかけがえのないものとして目に映り、胸にわき起こる感動を抑えきれなくなりました。そして、茂末生徒会長の見事な挨拶、鎌谷保体委員長の力強い宣誓。いずれも、今、何を大切にしなければならないかを深く考えた素晴らしい内容でした。子どもたちの力を信じること、自分で伸びようとするエネルギーのすごさを改めて感じました。

もとより、3年生にとって最後の体育祭。もっといろんなことがしたかったに違いありません。けれども、そんな気持ちを抑え、とても前向きに取り組んでくれました。「みんなでつなごう大縄のバトン」では、ものすごいスピードで縄が回っていました。きっと、練習から真剣に取り組んでいたに違いありません。まさに、今、ここで為すべきことを為すという姿勢に感激しました。

１･2年生も素晴らしい姿を見せてくれました。大縄スタートを示す電光掲示を見ながら、自然に秒読みをする声が生まれ、それが一つになります。跳び終わった後の歓声、結果を本部に届ける生徒のなんとも言えないうれしそうな顔など　どれをとってもとてもいい顔でした。

そして、何よりも感動的だったのは、演技が終わるたびに大きくて温かい拍手がグランドに広がったことです。私の見る限り、全員の手がしっかりと動いていました。学年を越えて互いの活躍をたたえ合う温かい心が、拍手とともに伝わってきました。拍手は、こんなにも気持ちを伝えられるものなのだと、生徒の皆さんに教えてもらった気がします。

そして、閉会式。総評で私は生徒に伝えました。

「君たちが今日のこの時間を楽しいと思えたのなら、それは、皆さんがとても素直だからです。」

最後に、朝早くから頑張ってくれた生徒会執行部の皆さん、ぬかるんだグラウンドの中でテント設営をしてくれた3年生、各係として準備をしてくれた皆さん、体育祭をリレーのための「試走」で泥だらけになってくれた先生方。全ての人に感謝したいと思います。

＜総合優勝（学年別）＞　１年4組　2年2組　3年6組